

## 土木広報センター ニュースレター (No.5)

発行日	2018年 12月 12日
	土木広報センター インフラ解説グループ長 島谷 幸宏

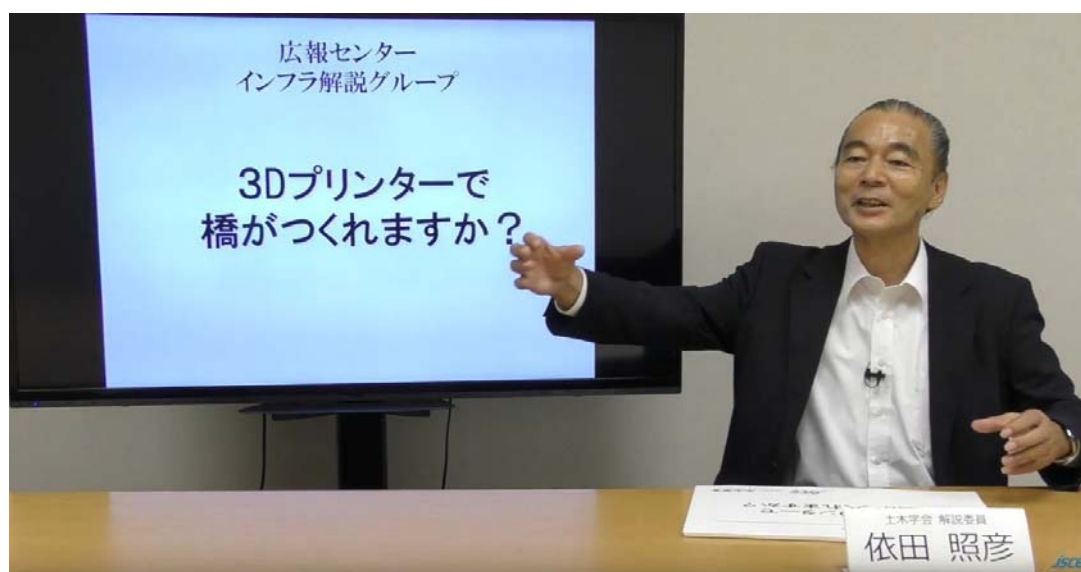
### インフラ解説動画と3Dプリンター

インフラ解説グループでは、初の試みとして土木に関する用語の解説を動画で配信することにいたしました。まずは、ということで土木広報センター長の依田先生と私が動画解説に挑戦しました。1つの質問に3分以内ぐらいで答えるという、とても短い動画ですが、とても解りやすく仕上がっていると思います。

依田センター長の解説をお聞きしていると、本当に橋が好きなのだということが伝わってきます。内容もさることながら、土木に携わっている人が土木が好きということは、とても大切なことであることを学びました。橋好きが造る、橋にいい加減なものはないということが伝わってきて、見てとても安心感があります。職人がいい加減なものを作らないと感じるのと同じ感覚がします。もうすぐ配信されると思いますので、ぜひご覧ください。

依田センター長への質問に「3Dプリンターで橋が出来ますか？」というものがありません。依田センター長は「出来ます。オランダではもう、つくっています。」「3Dプリンターによって、どのような形の橋が出てくるのか、とても楽しみにしています」と即座に、とても楽しそうに答えられました。私はそれまで3Dプリンターで橋が造られていることを知らなかったもので、驚きました。インターネットで動画を調べてみました。金属がなめらかにノズルから打ち出され、有機的な形の橋が出来上がっていく様子が配信されていました。部材の形に制約されないため、新しい形の橋ができるということを知りました。ワクワクしました。

現在は第4次産業革命の入り口に立っていると言われてはいますが、土木技術にもいよいよ第4次産業革命の波が訪れているようです。これから土木技術も大きく変わっていくと思います。次は「第4次産業革命と土木」と題した、最新コンテンツの解説ビデオを作るのも面白いかなと考えています。



問合せ先: 公益社団法人 土木学会 土木広報センター 前田、佐藤、小林  
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内  
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp

名 称	土木学会Facebookページ いいね！ランキング				
広報対象	(B-Ⅲ)一般市民・利用者				
活動期間	2018年6月～2018年7月				
場 所	土木学会Facebookページ				
担 当	土木広報センター/情報集約・発信グループ長 小松 淳				
状 況	<b>【2018年 6月 いいね！ランキング】</b>				
	2018年6月1日～30日集計結果 ※投稿日時は米国時間				
	順位	いいね	シェア	コメント	投稿メッセージ
	1	749	117	48	【ニュース動画】千葉県東方沖 プレートが緩やかに動く 念のため地震に注意[1分17秒]
	2	518	39	18	【ニュース動画】東京湾にクジラ？ 飛び跳ねる映像も 航行する船は注意を[20秒]
	3	508	56	28	【産学有志が構想取りまとめ】第二青函多用途トンネル、総工費は7229億円
	4	346	27	14	【ニュース動画】車体にピンクのリボン “キティちゃん新幹線” 運行始まる[1分5秒]
	5	327	29	14	【乗りものニュース】「ハローキティ新幹線」登場！ 車内はピンクと白の「かわいいお部屋」に(写真121枚)
	<b>【2018年 7月 いいね！ランキング】</b>				
	2018年7月1日～31日集計結果 ※投稿日時は米国時間				
	順位	いいね	シェア	コメント	投稿メッセージ
	1	652	79	113	【ウェザーニュース】週末にかけて災害級の大雨に 歴史的な豪雨となるおそれ
	2	548	69	4	【サイバーダイナミクス】ロボットスーツ、被災地活躍の舞台裏 「社内でかき集め、大急ぎでプログラム書き換えた」——西日本豪雨で
	3	499	40	24	【ニュース解説：土木】清水建設が掘削ミス、中心のずれ放置し不具合拡大
	4	483	43	7	【ライフハック】がんばれ！日吉ダム(わかりやすく今回の避難指示の理由を説明)
	5	471	40	33	【ライフハック】頑張りました日吉ダム。次は天ヶ瀬ダムの番。これからは3つの川のバランスの時間です。

問合せ先：公益社団法人 土木学会 土木広報センター 前田、佐藤、小林  
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内  
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp



名 称	オープンキャンパス土木学会2018
広報対象	(B-Ⅲ)一般市民・利用者
活動期間	2018年7月7日(土)
場 所	土木学会 (四ツ谷)
担 当	土木広報センター/市民交流グループ/土木の魅力グループ
状 況	 <p>土木を知る 土木にふれる 土木を語る 家族で土木を感じる 絶好のチャンス!</p> <p>主 催：公益社団法人土木学会 土木広報センター 後援：郵政省教育委員会</p>
	 <p>土木ふれあいフェスタの様子</p>
	 <p>ポケドボカードゲームの実践</p>
	 <p>明治150年企画展示</p>
	 <p>記念撮影スポットの設置</p>
内 容	<p>土木の魅力グループでは、2017年より始まった「オープンキャンパス土木学会」を2018年度も7月7日(土)に土木学会本部構内(東京都新宿区四谷)にて開催した。今年も、203人(大人121人、子供82人)のお客様にご来場いただいた。</p> <p>「土木ふれあいフェスタ」では、新たに企画委員会若手パワーアップ小委員会を加えた5つの調査研究委員会により、橋やトンネルの構造、土砂崩れや沈下の仕組み、足を使った距離測定、防災をテーマとしたカードゲームなど、7種の体験プログラムを提供した。</p> <p>「どぼくシアター」では、子どもから大人まで楽しんで土木について学んでいただくことを目的として、土木学会附属の土木図書館が所有する映画やアニメを上映した。</p> <p>「明治150年企画」として、土木図書館が持つ貴重書の展示会や「土木偉人かると」を使ったミニかるた大会など、新企画を実施した。</p> <p>また、「どぼくクイズラリー」として、各プログラム会場でクイズを出し、ラリー形式とすることで、より多くの方に各プログラム会場に足を運んでいただき、体験していただくような仕組みとした。</p> <p>来場者には、アンケートにご協力いただいた。アンケート結果を見ると、大人も子どもも楽しんでいただき、開催趣旨のとおり、土木に対する興味を持ってもらえたと感じる。</p>

問合せ先：公益社団法人 土木学会 土木広報センター 前田、佐藤、小林  
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内  
TEL：03-3355-3448 E-Mail：cprcenter@jsce.or.jp

名 称	未来の土木コンテスト 現場見学会
広報対象	(B-I)家族・主婦 (B-II)幼児・小学生・中学生・高校生
活動期間	2018年8月4日(土)13:00~16:00
場 所	東京外かく環状道路 本線トンネル(北行)東名北工事
担 当	土木広報センター/市民交流グループ/未来の土木コンテストグループ
状 況	 <p>チーム遠藤&amp;チーム島尻</p>  <p>チーム田中&amp;チーム安江</p>
内 容	<p>土木広報センター未来の土木コンテストグループでは、2018年8月4日(土)、日本建設業連合会のご支援のもと、国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所、中日本高速道路(株)東京支社東京工事事務所、東日本高速道路(株)関東支社東京外環工事事務所、大林組・西松建設・戸田建設・佐藤工業・銭高組JVIにご協力いただき、昨年度に実施した未来の土木コンテストの最優秀賞・優秀賞を受賞した未来プランナーへの副賞として、現場見学会を開催しました。</p> <p>未来の土木コンテストは、自分たちが住みたい未来の社会に関するアイデアを小学生から募集し一次選考を突破したアイデアに対して、それを発案した子どもたち(未来プランナー)とプロの土木エンジニアが協同してカタチにし、その過程を発表会でプレゼンするイベントでした。2018年1月の最終選考会・表彰式後、久しぶりの再会となった未来プランナーと技術検討チームの土木エンジニア約30人は、国内最大となるシールドトンネル工事を見学しました。</p> <p>今回見学した「東京外かく環状道路 本線トンネル(北行)東名北工事」の現場は、地表面から40メートル以上深い大深度地下に外径が15.8メートルのトンネルを約9.1キロメートル掘り進む工事です。子どもたちは、トンネル内に潜入し巨大構造物の迫力を体感するとともに、最先端技術の説明を受け、土木の力に大いに感動していました。</p>

問合せ先: 公益社団法人 土木学会 土木広報センター 前田、佐藤、小林  
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内  
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@isce.or.jp

名 称	土木学会Facebookページ いいね！ランキング				
広報対象	(B-Ⅲ)一般市民・利用者				
活動期間	2018年8月～2018年9月				
場 所	土木学会Facebookページ				
担 当	土木広報センター/情報集約・発信グループ長 小松 淳				
状 況	<b>【2018年 8月 いいね！ランキング】</b>				
	2018年8月1日～31日集計結果 ※投稿日時は米国時間				
	順位	いいね	シェア	コメント	投稿メッセージ
	1	407	29	12	【乗りものニュース】関門海峡歩いて渡れる海底トンネル、相当な維持費がかかっても無料のワケ(写真19枚)
	2	338	25	18	【エネルギー戦略】日本が見直すべき「水力発電」の底力
	3	328	21	16	【インフラツーリズム】「地下神殿」放水路を観光資源に、見学会を民間運営
	4	319	26	10	【かわいい土木】第14回 水争いを丸く収める日本生まれの分水装置
	5	301	33	15	【ニュース動画】運転免許証の有効期限 表記を元号から西暦に[1分7秒]
	<b>【2018年 9月 いいね！ランキング】</b>				
	2018年9月1日～30日集計結果 ※投稿日時は米国時間				
	順位	いいね	シェア	コメント	投稿メッセージ
	1	801	58	46	【鹿児島】奄美で灯台が消失 根元から無くなる
	2	639	71	63	【2018年台風21号】タンカー衝突の関空連絡橋、橋桁190m分を起重機船で撤去へ
	3	505	49	23	【唐津伊万里道路】のり面120m崩落 3月末、開通したばかり
	4	469	44	4	【文春オンライン】「タモリ倶楽部」にも出演した道路マニア！ 国交次官が語る「セクシーな道路」森昌文 国土交通次官インタビュー
	5	454	31	37	【乗りものニュース】関門海峡歩いて渡れる海底トンネル、相当な維持費がかかっても無料のワケ(写真19枚)

問合せ先：公益社団法人 土木学会 土木広報センター 前田、佐藤、小林  
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内  
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp



名 称	平成30年度土木学会全国大会広報関連企画「ベスト・イノベーター・オブ・土木偉人」
広報対象	(A-I) 土木関係者、(B-III) 一般市民・利用者
活動期間	2018年8月29日(水)
場 所	北海道大学 高等教育棟
担 当	土木広報センター/土木リテラシー促進グループ長 緒方 英樹
状 況	 
内 容	<p>本行事は、「土木偉人かるた」の普及を狙って企画されたイベントで、「明治期に革新的な功績を残した土木偉人」をテーマに、学生および若手技術者9名が、思い思いの土木偉人を取り上げ、プレゼンテーションを行うもので、発表者は、土木偉人の魅力を「革新性」「実行力」「現在への継承」の観点から発表した。来場者の投票により、「田辺朔郎」を取り上げた日本大学大学院の渡辺万紀子さんと、「田中豊」について紹介した岐阜大学大学院の蓮池里菜さんが同票でベストプレゼンターに選ばれた。発表者は必ずしも土木史を専門にしていない。これは主催者側として、「土木偉人かるた」をキッカケに、気になる土木偉人、専門が同じ土木偉人、郷里に関わる土木偉人などについて深掘りしてほしいという思いがあったためである。今回のプレゼン大会の発表者はもとより、参加いただいた方には、土木偉人の功績だけではなく、偉人の土木事業への熱い思いや生き方へと関心を深め、自身の人生の目標にさせていただく一助となればと願っている。発表者全員に、“土木偉人インタープリター”の認定証が手渡された。若い人たちが「かるた」など柔らかな媒体を契機に、一人一人が土木の伝道師になって、家族や友人など身近なところから熱く語ってほしい。</p> <p>総合司会:緒方英樹(土木広報センター 土木リテラシー促進グループ長)      プレゼン進行:中野朱美(土木広報センター 土木リテラシー促進グループ)      かるた紹介:鈴木三馨(土木広報センター 土木リテラシー促進グループ)</p> <p>話題提供者:      早内 玄(横浜国立大学 M2)(土木広報センター 土木リテラシー促進グループ)      水田 裕貴(松江工業高等専門学校 生産・建設システム専攻 1年)      渡辺 万紀子(日本大学大学院 理工学研究科 まちづくり工学専攻D2)      藤原 昇汰(山口大学 B4)      本田 美樹(埼玉大学 建設材料工学研究室 M2)      蓮池 里菜(岐阜大学 生産開発システム工学専攻)      是松 慧美(立山カルデラ砂防博物館 学芸員)      伊波 友生(寒地土木研究所 寒地河川チーム)      坂本 進(国土交通省 北海道開発局 事業振興部 技術管理課 技官)</p>

問合せ先: 公益社団法人 土木学会 土木広報センター 前田、佐藤、小林  
 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内  
 TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@isce.or.jp



名 称	第4回土木史サロン
広報対象	(A-I)土木関係者、(B-III)一般市民・利用者
活動期間	2018年10月12日(金)
場 所	土木学会講堂
担 当	土木広報センター/土木リテラシー促進グループ長 緒方 英樹
状 況	
内 容	<p>第4回土木史サロンを、「世界的防災遺産・立山砂防の価値と魅力」と題して、土木史広報小委員会主催、土木広報センター共催により開催。一般市民は、立山砂防について必ずしもよく知らないことを前提に、立山砂防の必要性や築かれた治水砂防システムの素晴らしさ(価値と魅力)を伝え、立山砂防に関心をもってもらうことを目的として80名余りの参加者が集まった。</p> <p>本企画では、土木には、一般社会から目に見えにくい大切な役割も担っていることが多々あることを知ってもらい、土木の価値を理解してもらおう一助にしたいと考えた。たとえば、富山平野の「住みよさ」や「ふつうの暮らし」は立山砂防という歴史的な事業が支えていることを知ってもらおうこと。そして、その立山砂防システムが世界的な代表モデルであることを訴えた。土木の歴史は、私たちの暮らしと将来にとって、多くの教訓と指針を与えてくれている。</p> <p>①上映「立山砂防・土砂との闘い～世界に誇る防災遺産～」  ②講演「20世紀遺産と立山砂防」北河次太郎  ③パネルディスカッション「立山砂防の価値と魅力について」  立山砂防を国の内外に発信している博物館の館長本田孝夫氏  立山砂防を世界遺産に登録しようと取り組んでいる富山県参事松島吉信氏  専門家の立場から東京文化財研究所室長の北河氏</p>

問合せ先: 公益社団法人 土木学会 土木広報センター 前田、佐藤、小林  
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内  
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@isce.or.jp